小学生が玉ねぎ収穫体験

収穫した玉ねぎは給食でいただきました

４月20日、市立石津小学校の２年生約40人が玉ねぎの収穫を体験しました。
玉ねぎは寝屋川導水路沿いにある農地で、石津校区地域協働協議会が育てたもの。食育の一環としてこれまでも収穫体験が行われてきましたが、コロナ禍で３年ぶりの実施となりました。子どもたちは感染対策をしたうえで、初めての玉ねぎ収穫を楽しみました。

夏鳥のノビタキ飛来

点野の河川敷

市内では冬鳥に代わって夏鳥が姿を見せ、スズメより少し小さい渡り鳥のノビタキも愛鳥家らの目を楽しませています。
オスのノビタキは夏羽（なつばね）に生え変わり、頭から背中や翼が黒く、胸元のだいだい色が特徴。「胸にメダルを下げた野鳥」として人気です。国内では北海道が代表的な繁殖地ですが、市内でも点野の河川敷などに4月頃から飛来し、木の枝などに止まって美しい姿を見せています。

今年もツツジが川沿いに彩りを

４月下旬から５月上旬にかけて、寝屋川市駅近く一級河川寝屋川沿いのツツジが満開に咲き誇りました。
寝屋川の北は極楽橋から南は神田橋まで、約２kmの両岸（約9,000㎡）に約33,000本のヒラドツツジが川沿いを彩り、周辺を通りかかった人は「白やピンクなど鮮やかなツツジを見ながら川沿いを歩くと、明るい気持ちになります」と話していました。

レンゲ自然観察会

自然と触れ合う子どもたち

４月22日、高宮地域のレンゲ開放農地で市立東小学校２年生109人を対象に自然観察会が行われました。
子どもたちは、自然を学ぶ会の先生から、田んぼに咲いている草花の名前やレンゲとミツバチの関係について説明を受けた後、レンゲ田に咲く９種類の草花を探すビンゴを楽しみました。てんとう虫やカエルを見つけたり草笛に挑戦したりと、自然と触れ合った子どもたちの顔には笑顔があふれていました。

優秀な成績を収めた皆さん

寝屋川シルバースターズの皆さん（白色のユニフォーム）
〇還暦チーム　第30回 西日本還暦軟式野球大会出場
〇古希チーム　第30回 全日本古希軟式野球大会出場

寝屋川ラフィキの皆さん（紺色のユニフォーム）
〇古希チーム　第14回 西日本古希軟式野球大会出場

大きなこいのぼりが出現

市立池田小学校に大小約80匹にもなるこいのぼりが飾られました。
これは、池田校区地域協働協議会と池田小学校PTAが中心となり、子どもたちの健やかな成長と新型コロナの収束、そして世界平和の願いを込めて企画されたものです。
夜には『池SHOW☆ルミネ』と名付けライトアップも開催。キラキラ輝くこいのぼりは、子どもたちの思いや希望のようですね。
登校してきた子どもたちは、「こいのぼりがいっぱい！」と興奮を隠しきれない様子でした。

東部丘陵、紫色の花競演！

キツネアザミやタツナミソウ

東部丘陵地の段々畑やあぜ道で、キツネアザミ**＝写真左＝**やタツナミソウ**＝写真右＝**が紫色の花を咲かせています。
薄紫色の花を付けるキツネアザミは、トゲがいっぱいのアザミに似ていますが、実はトゲがない違う仲間。だまされそうになることから名前が付けられたそうです。キツネゆかりの野草は5月号のトゲミノキツネノボタンに続いての登場です。
先が丸く膨らみ、青紫色の花が鮮やかなタツナミソウ。波立っているように見えることから名付けられたそうです。草地や林との境などで見られ、市内では東部丘陵地が観察ポイントの一つです。